

平成27年7月吉日

ご支援者 各位

岩手県立高田高等学校

校長 横田 昭彦

岩手県立高田高等学校新校舎落成報告並びにご支援への御礼

梅雨の候、皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、本校の教育活動に対し、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、陸前高田市における本校校舎等の再建については、ご心配をお掛けしておりましたが、平成25年度末の第一体育館竣工に続き、この3月には念願の校舎が完成し、本年度4月から生徒・教職員ともに新たな気持ちで学校生活を開始しました。また、本校の開校記念日である5月6日には、多くのご来賓をお招きして新校舎落成記念式典をつつがなく執り行うことができました。新しい環境での生活も三ヶ月が過ぎましたが、生徒は、これまでも増して明るく元気でございます。これもひとえに皆様からの物心両面にわたる温かいご支援の賜と心から感謝いたしております。

本来の地への復帰を果たしたとはいえ、陸前高田市は山を切り崩しての高台造成や中心地の嵩上げ工事など復興のさなかにあります。本校におきましても、通学路の安全確保やグラウンドの確保など解決すべき課題が山積しておりますが、昨年度卒業生から贈られたスローガン「高田の地に 再び刻め 我らの鼓動 繋がる心 輝く明日へ」のもと、これまで以上に教職員一丸となって、将来を担う若者の育成に努めて参る所存でございます。今後とも、皆様にお頼りすることも多々あろうかと存じますが、なにとぞご指導ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもちまして、新校舎等落成のご報告とこれまでのご支援に対する御礼とさせていただきます。

なお、新校舎等の様子につきましては、設計事務所のご協力により、本校を特集したパンフレットを同封いたしましたので、ご覧いただきたくお願い申し上げます。

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃は本校の教育にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて本校では、先に竣工した体育館に続いてこの3月末には念願の校舎が完成し、4月から生徒・教職員ともに新たな気持ちで学校生活を送っております。また、5月6日には落成記念式典を滞りなく終えることができました。これもひとえに皆様からの物心両面にわたる温かいご支援の賜物と心から感謝いたしております。

念願の新校舎に移転したとはいえ市街地はいまだ復興の途上であり、通学路の安全確保を始め解決すべき課題も山積しておりますが、本校スローガン「高田の地に 再び刻め我らの鼓動 繋がる心 輝く明日へ」のもと、これまで以上に教職員一丸となって将来の担い手の育成に努めて参る所存でございます。

末筆ではございますが、皆様のますますのご健勝をご祈念申し上げ、略儀ながら書中をもって校舎落成のご報告といたします。

本校ご支援者様 各位

平成27年7月吉日

岩手県立高田高等学校

校長 横田 昭彦



校舎正面



大講義室（氷上ホール）



図書室



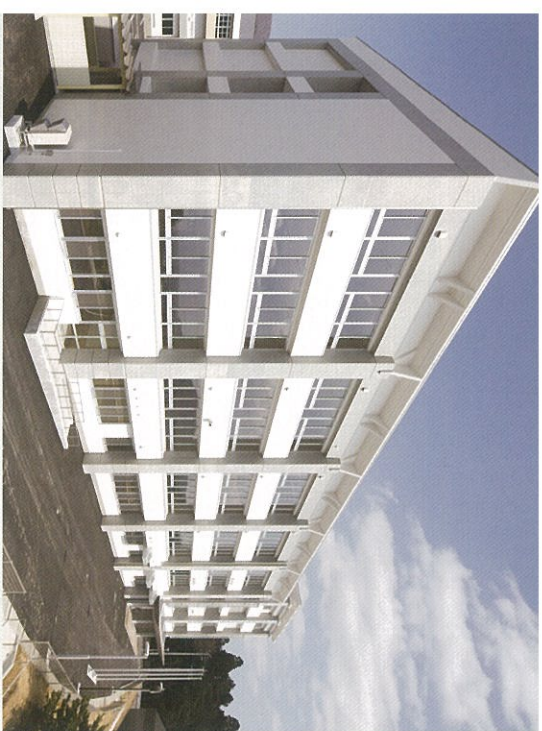
海洋システム科 食品製造実習室



高総体開会式の応援



盛土工事が進む市街地



岩手県立高田高等学校

施工地 / 岩手県陸前高田市高田町字長砂78-12

竣工年月 / 平成27年3月

敷地面積 / 13,039.06㎡

●校舎・産振棟

延床面積 / 7,132.72㎡

構造 / 鉄筋コンクリート造4階建

●第一体育館

延床面積 / 1,263.00㎡

構造 / 鉄骨造平屋建

●第二体育館

延床面積 / 1,471.95㎡

構造 / 鉄骨造2階建

●実習棟

延床面積 / 487.39㎡

構造 / 鉄骨造平屋建

市民待望の新校舎完成

岩手県沿岸南部の陸前高田市は、平成23年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災において、地震後に発生した巨大津波が市内全域に押し寄せ、白砂青松の景観で知られる高田松原や中心市街地の商店街・家屋などすべてが飲み込まれ未曾有の被害を受けました。岩手県立高田高等学校も同様に校舎3階天井付近まで浸水し、校舎や体育館のほか産振施設が全壊するなど一瞬にして多くの大切なものを失うこととなりました。

震災後の5月からは隣の大船渡市にある大船渡東高校中校舎を仮校舎として授業を再開しましたが、多くの生徒が長時間のバス通学により不便と負担を強いられるなど陸前高田市内での校舎再建は急務となりました。

震災から4年後の平成27年3月に旧校舎裏の高台に移転完成しました岩手県立高田高校新校舎は、安心・安全な学習環境の構築はもとより、陸前高田市の復興の担い手となる人材育成と地域復興のさきがけとなる施設として計画されました。学習と生活の場となる校舎内は岩手県産の木材を多用し温かみを感じる潤いある空間とし、廊下と一体化した明るく開放的な交流ホールとともに、生徒たちの活力ある学校生活を支えます。避難所としての役割を担う体育館は災害緊急時の機能強化として第二体育館に防災対策室を配置、男女別のシャワー設備や簡易厨房、防災倉庫を設け災害時の避難所機能を十分に果たします。



被災しました旧校舎(写真左)の裏の高台に新しい校舎は再建されましたが、いまだに校舎前の学校グラウンドには多数の仮設住宅があり(写真右)、多くの市民の方が避難生活をされています。



落ち着きある木質内部空間



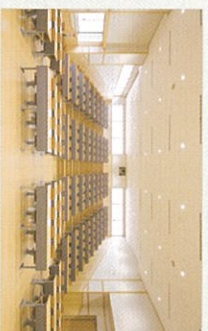
図書室



明るく開放的な交流ホール



第一体育館



200名を収容する大講義室



第二体育館



第二体育館・1階防災対策室



第二体育館・1階柔剣道場



第二体育館・2階アリーナ

平面図

